

社会との連携



津田塾生が挑戦する課題解決



個性を発揮できるキャンパスと、
社会につながる実践の場で、
「変革を担う女性」へ。



MAKE
A
DIFFERENCE



TSUDA UNIVERSITY

社会の持続的発展に貢献し、 学生の課題発見・解決能力を育てます



連携推進センター長
小館 亮之
総合政策学科教授

津田塾大学の創立者・津田梅子は、留学後「学んだ知識を社会に還元したい」という強い思いを抱き、本学の前身となる女子英学塾を設立しました。連携推進センターは、その精神を継承しています。

地域・企業・団体・他大学と連携し、諸課題の解決に向けて、学生のアイデアや教員の研究活動の成果を社会に還元することで、社会の持続的発展に貢献することを目指しています。また、これらの活動により学びの場を広げ、学生の課題発見・解決能力を引き出します。

津田塾大学は、女性のリーダーシップ発揮の場を創ることによって、「変革を担う女性」を育ててまいります。

津田塾のまなび

特色ある
英語教育

個を重んじる
少人数教育

将来を描くための
学外での挑戦

海外留学 学外学修
連携プロジェクト

リーダーシップを発揮しやすい環境

お互いを認め、助け合う志の高い仲間

周りを気にせず、やりたいことに打ち込める環境

Mission

長野県飯田市

「飯田水引」をはじめとする飯田市のブランディング

「水引」を使い、車いすの スポーク用アクセサリを開発

飯田市を実際に訪れ、その魅力を発信するワーキンググループでは、伝統工芸品の水引を使った車いすのスポーク用アクセサリを産学官連携で共同開発しました。

手作り水引とクリップを組み合わせた製品は、車いすを「自分らしく自由に彩ってほしい」という願いから「Me's (ミーズ)」と命名。海外へのお土産としても好評です。第20回長野車いすマラソンでは副賞に採用され、開発に携わった学生が、自らプレゼンターとして入賞選手に贈呈しました。



卒業記念品として毎年販売し、好評を得ている飯田水引を使った「帯挿し」

外国人へ水引の魅力を伝える 英語パンフレットの製作

ワークショップや水引商品の販売を行う中で、水引に興味を持つ外国人に多く出会ったことから、その魅力を国際的に広めるべく英語パンフレットを製作しました。ご祝儀袋からアクセサリまで、水引の幅広い魅力を掲載したパンフレットは、飯田市内の観光案内所等に設置されています。



Voice

中基 有紀

NAKADAI Yuki

総合政策学部
総合政策学科
3年



このプロジェクトを通じて得た大きな収穫は、水引を切り口にした自分たちの活動が、地域の活性化という課題解決につながっていくという実感をもてたこと。卒業後も自分の「好きなこと」を起点として、社会課題を解決できる仕事に邁進できたら理想的です。「やりたい」と思ったことを皆が肯定してくれるだけでなく、実行できる。そんな環境を与えてくれる津田塾に、心から感謝しています。

中基さんの
インタビュー
全文はこちら
〔公式Webサイト〕



Mission

岩手県住田町

地域課題の分析・提言と人材育成

地域課題の解決策をともに考え 地元の高校生のメンターに

山々に囲まれ、自然豊かな住田町。現地を訪れ、フィールドワークや地元の方々と交流を通じて地域課題の分析や解決策の検討を行い、町に提言してきました。

2023年には「高校生と大学生の交流会」を提案。大学生との交流を通じて、高校生の多様な進路選択やチャレンジを後押しすることを目指すものです。様々な方の意見を聞きながら、具体化に向けて動いています。

小中高生が参加して 散策マップの製作へ

もうひとつの提案は、来訪者向けの「住田町散策マップ」の製作。町内の子どもたちが家族や友人以外と関わる機会が少ないことから、幅広い学年の児童・生徒と関わる機会を増やし、地元の魅力を再認識することが目的です。マップ作りを行うために早速ワークショップを開催すると、「住田の好きなところ」「自慢したいところ」など、たくさんのアイデアが出ました。



多様な連携先

(2024年現在)

津田塾大学では、学生・教職員が主体となり、さまざまな地域・企業・団体・他大学と連携した活動を行っています。連携推進センターは学部・学科を超えたセンターとして、これらの活動を支える役割を果たしています。

自治体

東京都小平市
長野県飯田市
岩手県住田町
東京都国分寺市
福井県鯖江市・鯖江商工会議所
千葉県佐倉市
シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー (S-SAP)

企業・団体

公益財団法人東京二期会
独立行政法人日本芸術文化振興会
株式会社伊藤園
千駄ヶ谷大通り商店街振興組合
日本将棋連盟
成田国際空港株式会社
特定非営利活動法人佐原アカデミア
一般財団法人国際協力推進協会

教育機関

国立大学法人香川大学
学校法人芝浦工業大学
国立大学法人電気通信大学
学校法人武蔵野美術大学
学校法人関西大学

福井県鯖江市

Mission

特産品を活かした地域創生と産業観光の推進

「漆」や「めがね」を活かした製品を共同開発

鯖江市の魅力発信プロジェクトの一環として、伝統工芸品を用いた製品を産学官連携で共同開発しました。漆器にオリジナルの蒔絵を描く体験キット「DUY~Do Urushi Yourself~」は、ふるさと納税の返礼品にも採用。めがねのフレーム素材を使ったペット用アクセサリ「Umenowa」は、犬・猫の首輪と同じデザインのブレスレットがあり、ペットと飼い主がお揃いで楽しめます。



フィールドワークを通じて産業観光モデルルートの提案

鯖江市内の眼鏡事業者・鯖江市職員・津田塾大学生でチームを組み、鯖江市の魅力を県内外に発信できる通年型観光ルートを構築する「産業観光モデル事業」。鯖江でのフィールド調査では、観光者目線でめがね産業や越前漆器、越前和紙に関する施設を訪問し、産業と観光をつなぐルート構築に向けた意見交換を行いました。2度のフィールド調査を経て、2つの観光モデルルートが完成。学生たちが考案したモデルルートは、「ことりっぶマガジン」(昭文社)の2024年3月号で紹介されました。

Voice

山本 千翼

YAMAMOTO Chihiro

総合政策学部
総合政策学科
3年



産業観光モデル事業は、第三者の立場から観光メニューを立案するもので、実践的です。この取り組みでは授業の学びが活かれました。人手不足や高齢化といった課題の事例を授業でインプットしていたから、課題のアイデアにも説得力が生まれたと感じます。津田塾がビジョンとして掲げる「変革を担う、女性であること」を自ら体験するために、これからもチャレンジを続けます。

山本さんのインタビュー全文はこちら

[ガイドブック2025] P.12~13



株式会社伊藤園

Mission

日本茶文化の発信

抹茶や冷茶のアレンジレシピでお茶の多様な楽しみ方を提案

日本茶の魅力を国内外に発信するワーキンググループでは、伊藤園のティーテイスターからお茶のいれ方を学んだり、静岡工場の見学などを通して知識や経験を高めながら、お茶の新たな楽しみ方を提案しています。学生が考案した抹茶や冷茶のアレンジレシピは、学内外で開催されるイベントで紹介。抹茶アート体験など、多様な楽しみ方を伝える活動をしています。

国立能楽堂と連携して日本茶ワークショップを開催

千駄ヶ谷キャンパス近隣の国立能楽堂にて、能楽鑑賞に来られた方を対象に「アレンジ抹茶体験」を企画。当日上演の能が桜を主題とした作品であることにちなみ、桜パウダーやひなあられを使った抹茶のアレンジ方法を紹介し、好評を得ました。当日は伊藤園の新商品のサンプリングも実施。学生対象の座談会などを通して、商品マーケティングにも触れています。



他大学とともに

異なる強みを持つ他大学との連携によって学びの場を拡大し、教育の多様化を図っています。地方圏と都市圏の学生が交流等を通して、継続可能な地方分散型社会の実現に貢献する人材育成を目指します。

香川大学・芝浦工業大学

香川で他大学の学生とともに課題解決に取り組む

香川大学と協定を結ぶ都市圏大学と合同で、夏休みに現地滞在型の実践プログラムを実施。香川県の自治体・企業と連携し、それぞれの地域課題の解決を目指します。地方と都市圏、性別など、様々な価値観を理解し、共に課題解決に取り組むことで、イノベーションの原動力となるマインドを養います。



自治体・企業への提案やアプリの試作も実施

現地でのフィールドワークや就業体験を通して向き合うのは、教育・ふるさと納税・環境保全など多様な地域課題。課題の解決のため、混成メンバーでアイデアを出し合います。ワークショップ型プログラムでは、アイデアに基づいて企画やアプリを試作し、自治体や企業へ解決策の提案まで行いました。

香川と都市圏の大学連携推進事業
-かがわBridgeプロジェクト-



【2023年度の実施例】

ワーク シヨップ型	システム/サービスデザインワークショップ -2040年に小豆島は最先端の教育島となる- デザイン思考ワークショップ -土庄町をプロモーションしてみよう-
フィールド ワーク型	瀬戸内の海をデザインする -瀬戸内の豊かな海を守る-
就業体験型	うどん県で楽しいをシゴトにする -地方だからできること-

事前学習
(e-Learning)

現地での
学習・体験・発表

合同報告会

近隣地域とともに

武蔵野の緑に囲まれ、落ち着いた雰囲気学びに最適な小平キャンパスと、国立競技場や新宿御苑にほど近く、国際色と多様性あふれる千駄ヶ谷キャンパス。津田塾大学の学生は、キャンパスの近隣地域とも連携して活動しています。

千駄ヶ谷大通り商店街 振興組合

地域の盆踊り大会に ラジオ出演と水引販売で参加

鳩森八幡神社で行われた「せんだがや盆踊り大会」では、飯田市と連携するワーキンググループが水引商品を販売。また、ラジオ企画に学生が出演し、地域との取り組み事例やその想いを紹介しました。



国立能楽堂

(独立行政法人日本芸術文化振興会)

能楽普及イベントにて クイズラリー企画を運営

国立能楽堂で開催された「せんだがや夏祭り in 国立能楽堂」では、来場者へ配布するパンフレットを学生たちが作成。公演中の舞台サポートや、受付補助に加え、クイズラリー企画の運営も行いました。



日本将棋連盟

2024年、将棋会館が 千駄ヶ谷キャンパス隣へ移転

将棋会館のある千駄ヶ谷は将棋のまち。英語版将棋パンフレットの製作や大学祭での指導対局などで連携してきました。2024年には将棋会館が千駄ヶ谷キャンパスの隣に移転。さらなる連携を目指します。



津田塾大学
TSUDA UNIVERSITY

連携推進センター

Center for
Collaboration and Partnership

津田塾大学
公式Webサイト



連携推進センター
Webサイト



連携推進センター
Instagram



小平キャンパス

東京都小平市津田町2-1-1

- 西武国分寺線 鷹の台駅 徒歩約8分
- JR武蔵野線 新小平駅 徒歩約18分

- 学芸学部 英語英文学科/国際関係学科/多文化・国際協力学科
数学科/情報科学科
- 大学院 文学研究科/国際関係学研究科/理学研究科

千駄ヶ谷キャンパス

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

- JR中央・総武線 千駄ヶ谷駅 徒歩約1分
- 都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅 徒歩約1分
- 東京メトロ副都心線 北参道駅 徒歩約10分

- 総合政策学部 総合政策学科
- 大学院 文学研究科(英語教育実践研究)